

付属資料

1. Web アンケート調査画面

※実際のWEB アンケート調査画面のハードコピーのため、プルダウンメニューの詳細が表示されていない。

そのため、SC06 及び Q09 の詳細については、最後に纏めて掲載する。

SQ01

あなたの性別について、お答えください。

- 男性
- 女性
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

SQ02

あなたの年齢について、お答えください。

- 14歳以下
- 15歳～19歳
- 20歳～24歳
- 25歳～29歳
- 30歳～34歳
- 35歳～39歳
- 40歳～44歳
- 45歳～49歳
- 50歳～54歳
- 55歳～59歳
- 60歳～64歳
- 65歳以上
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

SQ03

あなたの現在の仕事の状況について、お答えください。

※複数の仕事をしている場合は、「収入の最も多い仕事」についてお答えください。
(以降、同様)

- 企業に雇用されている(公務員含む)
- 自営業主(家庭内職者含む)
- 家族従業者
- 企業に雇用されていない(失業者や仕事を探していない者等)
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

SQ04

あなたの現在の雇用形態(職場での呼称)について、お答えください。

- 役員
- 正規の職員・従業員
- 非正規の職員・従業員
(例:パート・アルバイト、派遣社員、契約・嘱託社員等)
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

SQ05

あなたの職業について、お答えください。

(日本標準職業分類)

- 管理的職業従事者
(役員、管理職員等)
- 専門的・技術的職業従事者
(研究者、技術者、医師・看護師・保健師・理学療法士・栄養士、保育士、教員、法務従事者、公認会計士、社会保険労務士、記者、デザイナー、俳優等)
- 事務従事者
(一般事務従事者、秘書、電話交換手、会計事務従事者、営業・販売事務、パソコンオペレーター、データ入力係員等)
- 販売従事者
(商品販売従事者、不動産仲介・売買人、保険代理業務員、営業職等)
- サービス職業従事者
(介護職員、看護助手、理容師・美容師、調理人、飲食店主・飲食物給仕従事者、ビル等管理人、旅行・観光案内人等)
- 保安職業従事者
(自衛官、警察職員、消防員、警備員等)
- 農林漁業従事者
- 生産工程従事者
(生産設備制御・監視従事者、製品・製造・加工処理従事者、機械組立・整備・修理従事者、製品・機械検査従事者等)
- 輸送・機械運転従事者
(鉄道・自動車・船・航空機運転従事者、発電員、ボイラー技士、クレーン運転工、ブルドーザー運転工等)
- 建設・採掘従事者
(建設従事者、電気工事従事者、土木作業従事者、採鉱員、砕石工等)
- 運搬・清掃・包装等従事者
(郵便集配員、新聞配達員、倉庫作業員、ビル・建物清掃員、食品包装工等)
- 答えたくない/分類不能の職業

次へ

0 50 100(%)

SQ06

現在、あなたが住んでいる都道府県は、どこですか。

次へ

0 50 100(%)

本調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。本調査は、厚生労働省が所管する調査研究機関である独立行政法人『労働政策研究・研修機構(JILPT)』が、厚生労働省(職業安定局)からの要請を受けて実施するものです。

本調査は、人工知能(AI)(生成AIを含む、定義は後述)を職場に導入することによって生じる影響と、それに伴う諸問題を明らかにすることが目的です。調査結果は、今後の労働政策の企画・立案のための貴重な基礎資料として活用されます。

本調査には、経済協力開発機構(OECD)が実施したAI調査と国際比較するため、英文の直訳に近い設問が含まれます。上記目的に依るものとご容赦ください。

本調査は以下の通り、大きく5つのブロックで構成しています。単一回答だけでなく、複数回答が可能な質問もありますので、各質問の指示に沿ってお答えください。

- 1.回答者の基本属性について
- 2.職場におけるAIの利活用の状況、その効果、将来的な影響について
- 3.新しい技術導入時における、雇用主から労働者への協議の状況について
- 4.AIに関連する訓練の状況や、将来的なスキルニーズの変化について
- 5.企業や政府の取組について

なお、回答は統計的に集計・分析されますので、個人が特定されることは一切ありません。また、あなたの個人情報を第三者に提供することも一切ありませんので、あなたの状況やご認識について、ありのままお答えください。

次へ

0 50 100(%)

Q01

あなたの最終学歴について、お答えください。

- 中学校卒
- 高校卒
- 専修学校、各種学校卒
- 短大卒、高等専門学校卒
- 四年制大学卒
- 大学院修了
- 上記以外

次へ

0 50 100(%)

Q02

あなたの婚姻状況について、お答えください。
※既婚には、別居、事実婚を含みます。

- 既婚者(子ども有)
- 既婚者(子ども無)
- 離婚、死別(子ども有)
- 離婚、死別(子ども無)
- 未婚者(子ども有)
- 未婚者(子ども無)
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

Q02_SQ1

現在、あなたが主体となって、家族に対して、育児や介護を行っていますか。
(いくつでも)

- 育児を行っている
- 介護を行っている
- 行っていない
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

Q03

現在、あなたは「障害者手帳」をお持ちですか。

※「障害者手帳」とは、**身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳**などを指します。

- 所持している
- 所持していないが、障がいについて診断を受けている
- 所持しておらず、障がいの診断も受けたことはない
- 答えたくない



Q04

先月(2024年4月)の、あなたの1週間当たりの平均的な労働時間(残業時間を含む)についてお答えください。

※副業も含めた、あなたの全ての仕事についてお答えください。
※先月の全週を休業した場合は、0時間とお答えください。

- 0時間
- 1~14時間
- 15~34時間
- 35~42時間
- 43~48時間
- 49~59時間
- 60~69時間
- 70時間以上



Q05

昨年(2023年1～12月)、あなたがすべての仕事から得た収入の合計額(年収)についてお答えください。

※税金と社会保険料を差し引く前の額面(総支給額)で、お答えください。

- 50万円未満
- 50万円～100万円未満
- 100万円～200万円未満
- 200万円～400万円未満
- 400万円～600万円未満
- 600万円～800万円未満
- 800万円～1,000万円未満
- 1,000万円以上
- 答えたくない

次へ

0 50 100(%)

Q06

現在、あなたが働いている企業の、国内従業員数の規模についてお答えください。

※あなたの働いている事業所だけでなく企業全体の従業員数について、パート・アルバイト等も含めてお答えください。

※派遣社員は、『派遣先』での就業状況についてお答えください。(以降、同様)

- 19人以下
- 20～49人
- 50～99人
- 100～249人
- 250～300人
- 301～499人
- 500～999人
- 1,000～4,999人
- 5,000～9,999人
- 10,000人以上
- 官公庁
- わからない

次へ

0 50 100(%)

Q07

あなたの職場や関連する部署の状況を踏まえ、あなたの企業における従業員数の過不足状況について、どのように評価しますか。

- 深刻な従業員数の不足
- 軽度の従業員数の不足
- 従業員数の過不足はない
- 軽度の従業員数の過剰
- 深刻な従業員数の過剰
- わからない



次へ

Q08

あなたが働いている産業分野について、お答えください。

(日本標準産業分類)

※企業が複数の事業を営んでいる場合、**主な事業**の内容に基づいてお答えください。

※派遣社員は、派遣先の事業所の事業内容についてお答えください。

- 農業、林業、漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業
- 建設業
- 製造業
- 情報通信業
(通信業、放送業、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット随伴サービス業、映像・音声・文字情報制作業等)
- 運輸業、郵便業
(鉄道業、運送業、海運業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業、郵便業等)
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
(銀行業、協同組織金融業、貸金業、質屋、金融商品取引業、クレジットカード業、商品先物取引業、生命・損害保険業等)
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
(研究機関、法律事務所、デザイン業、経営コンサルタント業、翻訳業、不動産鑑定業、広告業、建築設計業、機械設計業、測量業、写真業、獣医)
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
(洗濯業、理容・美容業、浴場業、旅行業、家事サービス業、冠婚葬祭業、映画館、競馬場、ゴルフ場、遊園地、カラオケボックス等)
- 教育、学習支援業
(学校教育機関、図書館・公民館・博物館などの社会教育機関、職業訓練施設、学習塾、教養・技能の教授を目的とする教室等)
- 医療、福祉
(医療業、保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業等)
- 複合サービス事業
(郵便局、協同組合)
- サービス業(他に分類されないもの)
(廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、警備業、ビルメンテナンス業、コールセンター業、政治・経済・文化団)
- 公務(他に分類されるものを除く)
- わからない

次へ



Q09_1

あなたの職種について、お答えください。

(国際標準職業分類)

※派遣社員の方は、派遣先での職業についてお答えください。

次へ

0 50 100(%)

Q09_2

あなたの職種について、お答えください。

(国際標準職業分類)

※派遣社員の方は、派遣先での職業についてお答えください。

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q09_3

あなたの職種について、お答えください。

(国際標準職業分類)

※派遣社員の方は、派遣先での職業についてお答えください。

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q09_4

あなたの職種について、お答えください。

(国際標準職業分類)

※派遣社員の方は、派遣先での職業についてお答えください。

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q10

あなたは、ふだんの仕事日に、次のようなタスク(作業)にどの程度の時間を費やしますか。(それぞれひとつずつ)

	勤務時間のほぼすべて	勤務時間の半分を超	勤務時間のほぼ半分	勤務時間の半分未満	勤務時間中には全くない
1 定型的な繰り返しの作業	<input type="radio"/>				
2 身体を動かす作業(立ち仕事、機械や車両操作、荷物の運搬など)	<input type="radio"/>				
3 危険な場所での作業(高所、極端に暑い/寒い場所、機械の多い場所など)	<input type="radio"/>				
4 他者に理解してもらうための説明やコミュニケーション	<input type="radio"/>				
5 課題を把握し、創造力を活かして解決を図ること	<input type="radio"/>				
6 チームメンバーや部下の管理・動機づけ	<input type="radio"/>				
7 データや情報を分析し、結果に基づき判断すること	<input type="radio"/>				
8 同僚と一緒に協力して行う作業	<input type="radio"/>				

次へ

0 50 100(%)

次の設問に進む前に、以下の定義・記載を、よくご確認ください。

人工知能(Artificial Intelligence)の定義について

仮にあなたが人工知能(AI)という言葉について十分な知識がある場合でも、このパート以降の回答を始める前に、以下の定義・記載をよくご確認ください。

人工知能(AI)とは、通常は人間の知能を必要とするようなタスク(業務)について、知的なコンピュータプログラムや機械が、それを実行することを可能にさせるものです。

<日常生活におけるAI利用の一例>

- ✓ Siri, Alexa, その他のスマートアシスタント
- ✓ NetflixやYouTubeにおけるリコメンド
- ✓ 自動運転技術

<職場におけるAI利用の一例>

- ✓ ロボットアドバイザー
- ✓ 顧客サービス用のチャットボット
- ✓ 不正検知のソフトウェア
- ✓ カメラを使用して商品の破損等をチェックする機械
- ✓ 需要と価格を予測するためのソフトウェア
- ✓ 機械の修理時期を予測する技術
- ✓ 人手不足を補うAI搭載ロボット(農業、配膳、商品陳列、配達、レジ業務のサポート、警備など)

もし、職場におけるAIの利用例をもう少し確認したい場合は、こちらをご確認ください。

- ✓ 採用プロセスや社内の人材マネジメントをサポートするソフトウェア
- ✓ AI搭載の翻訳ソフトウェアや仕事をサポートするAIメンター
- ✓ AIの予測機能を活用した物流ルートの最適化
- ✓ 介護におけるケアプランやパートのシフト表の作成をサポートするソフトウェア
- ✓ 医療分野における画像診断をサポートするソフトウェア
- ✓ 不動産評価額を提案し、売買をサポートするソフトウェア
- ✓ 服のコーディネートや美容商品のリコメンドによる販売支援
- ✓ AIによる学習支援や採点業務の支援

また、近年、生成AI(ChatGPT、Bing、Bardなど)という技術が目まぐるしく注目を集めています。生成AIとは、人工知能が文章、画像、動画、音声を生み出す技術を指します。例えば、文章生成のために利用される場合、メールや企画書の案出、コンピュータプログラムのコード作成、会議の議事録の要約等ができます。

このパート以降で、単に「AI」と記載されている場合は、生成AIも含めた人工知能(AI)技術全般を想定してご回答ください。

また、「生成AI」と記載されている場合は、生成AIのみを想定してご回答ください。

Q11

上記の内容を理解したら下記チェックボックスにチェックをいれてください

- 上記の定義や記載を理解した

次へ

Q12

あなたのご認識の範囲で、お答えください。

あなたの企業や働いている職場では、人工知能(AI)が使用されていますか。

(それぞれひとつずつ)

※少なくとも、**あなた自身が何らかの形で仕事にAIを利用している場合は「はい」とお答えください。**

※**あなた自身が仕事にAIを利用していなくても、企業内の他の部署・店舗・現場等や職場の上司・同僚・部下等が、何らかの形でAIを使用している場合は「はい」とお答えください。**

※**AIの使用頻度は考慮せず、何らかの形で仕事にAIが使用されることがある場合は「はい」とお答えください。**

は	い	わ
((か
使	使	ら
用	用	な
さ	さ	い
れ	れ	
て	て	
い	い	
る	ない	
))	

1	あなたが働いている職場の範囲において	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	あなたが所属している企業全体において	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q13

仕事におけるAIとあなた自身の関係性について、適切に表現している項目をすべて選択してください。(いくつでも)

- 私は、AIを利用して仕事をしている
- 私は、AIを利用している労働者の上司である
- 私は、AIの開発/メンテナンスをしている
- 私は、AIに管理されている
(AIによる安全管理、作業指示、スケジュールの管理、業務進捗の管理、人事考課で利用など)
- 上記以外で、AIと関係性がある
- 仕事で、利用することは無い
- わからない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q14

あなたのご認識の範囲で、お答えください。

あなたの企業におけるAIの使用状況について、2年前(2022年5月)と比較して、どのように評価しますか。

- 大幅に拡大している
- やや拡大している
- おおむね変わっていない
- やや縮小している
- 大幅に縮小している
- 2年前は、使用されていなかった
- わからない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q15

あなたのご認識の範囲で、お答えください。

あなたの企業や働いている職場では、生成AIが使用されていますか。

(それぞれひとつずつ)

※少なくとも、あなた自身が何らかの形で仕事に生成AIを利用している場合は「はい」とお答えください。

※あなたが仕事に生成AIを利用していなくても、企業内の他の部署・店舗・現場等や職場の上司・同僚・部下等が、何らかの形で生成AIを利用している場合は「はい」とお答えください。

※「企業の指示による生成AIの業務使用」あるいは「企業の指示によらない自主的な生成AIの業務使用」を区別せず、利用している場合は「はい」とお答えください。

※生成AIの使用頻度は考慮せず、何らかの形で仕事に生成AIが使用されることがある場合は「はい」とお答えください。

は	い	わ
((か
使	使	ら
用	え	な
さ	用	い
れ	さ	な
て	れ	い
い	て	な
る	い	い
)	ない)

1	あなたが働いている職場の範囲において	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	あなたが所属している企業全体において	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q16

仕事における生成AIとあなた自身の関係性について、適切に表現している項目をすべて選択してください。(いくつでも)

- 私は、生成AIを利用して仕事をしている
- 私は、生成AIを利用している労働者の上司である
- 私は、生成AIの開発/メンテナンスをしている
- 上記以外で、生成AIと関係性がある
- 仕事で、利用することは無い
- わからない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q17

仕事における生成AIの利用が企業指示によるものか、お答えください。

- 企業指示で、生成AIを使用している
- 企業指示によらず自主的に、生成AIを使用している

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q18

AIが仕事に与えている影響について、お伺いします。(それぞれひとつずつ)

	はい	いいえ	わからない
1 AIは、あなたがしていた何らかの作業を、これまでに自動処理化しましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 AIは、以前には無かった新しい作業を、これまでに創出しましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 AIは、あなたの意思決定を支援していますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 AIは、あなたの上司がしていた何らかの作業を、これまでに自動処理化しましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 AIは、あなたの同僚がしていた何らかの作業を、これまでに自動処理化しましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q19_1

AIによって、自動処理化された作業の特徴について、お答えください。
(それぞれひとつずつ)

	はい	いいえ	わからない
1 それは、繰り返しの多い作業でしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 それは、複雑な内容の作業でしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 それは、危険性のある作業でしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 それは、想像力を活かして課題解決を図るものでしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q19_2

AIによって、創出された作業の特徴について、お答えください。
 (それぞれひとつずつ)

	はい	いいえ	わからない
1 それは、繰り返しの多い作業でしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 それは、複雑な内容の作業でしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 それは、危険性のある作業でしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 それは、想像力を活かして課題解決を図るものでしたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q20

AIによる意思決定の支援について、あなたの所感にあてはまるものをお答えください。
 (それぞれひとつずつ)

	強く同意する	やや同意する	どちらでもない	やや同意しない	強く同意しない	わからない
1 AIは、より迅速な意思決定を支援している	<input type="radio"/>					
2 AIは、より良い意思決定を支援している	<input type="radio"/>					
3 AIが、意思決定を支援してくれるのが好きだ	<input type="radio"/>					
4 AIによって、私は意思決定をコントロールしにくくなった	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q21

以下について、あなたの所感にあてはまるものをお答えください。
 (それぞれひとつずつ)

	強く同意する	やや同意する	どちらでもない	やや同意しない	強く同意しない	わからない
1 AIに自動処理化された上司の作業に関連する、私自身の作業の効率が向上した	<input type="radio"/>					
2 上司の指示の質が、全般的に向上した	<input type="radio"/>					
3 AIは、人間のミスの発見と修正を容易にしている	<input type="radio"/>					
4 AIの判断に、疑念を持つ機会が増えた	<input type="radio"/>					
5 AIに自動処理化された同僚の作業に関連する、私自身の作業の効率が向上した	<input type="radio"/>					
6 同僚の影響で、私自身も同じ作業を自動処理化した(または、これからしたい)	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q22

AIの利用前後で、あなたが作業に費やす時間や働き方等がどのように変化したか、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	かなり増加した	少し増加した	少し減少した	かなり減少した	影響なし	わからない
1 定型的な繰り返しの作業	<input type="radio"/>					
2 身体を動かす作業(立ち仕事、機械や車両操作、荷物の運搬など)	<input type="radio"/>					
3 危険な場所での作業(高所、極端に暑い/寒い場所、機械の多い場所など)	<input type="radio"/>					
4 他者に理解してもらうための説明やコミュニケーション	<input type="radio"/>					
5 課題を把握し、創造力を活かして解決を図ること	<input type="radio"/>					
6 チームメンバーや部下の管理・動機づけ	<input type="radio"/>					
7 データや情報を分析し、結果に基づき判断すること	<input type="radio"/>					
8 同僚と一緒に協力して行う作業	<input type="radio"/>					
9 月間の総残業時間	<input type="radio"/>					
10 年次有給休暇の取得日数	<input type="radio"/>					
11 平均的な賃金総額(税金と社会保険料を差引く前の額面)	<input type="radio"/>					
12 職場で上司・同僚・部下と話す機会	<input type="radio"/>					
13 仕事で新しい事を学ぶ機会	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q23

AIの利用前後で、あなたの仕事に対する自身の所感や評価がどのように変化したか、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	かなり高まった / 増加した	少し高まった / 増加した	少し低下した / 減少した	かなり低下した / 減少した	影響なし	わからない
1 作業順序に対するコントロール(制御)の度合い	<input type="radio"/>					
2 作業を遂行するペース(速さ)	<input type="radio"/>					
3 仕事の楽しさ	<input type="radio"/>					
4 仕事に対する熱意	<input type="radio"/>					
5 仕事に対する誇り	<input type="radio"/>					
6 仕事を通じて感じる活力	<input type="radio"/>					
7 仕事への没頭感	<input type="radio"/>					
8 仕事が退屈だと感じる時間	<input type="radio"/>					
9 仕事を通じて自己成長の機会	<input type="radio"/>					
10 テレワークなどの働き方の自由度	<input type="radio"/>					
11 AIによる、仕事の進捗管理	<input type="radio"/>					
12 上司や管理者による、仕事の進捗管理	<input type="radio"/>					
13 AIが、自身の仕事を奪う不安感	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q24

AIの利用前後で、あなたの働き方に対する自身の所感や評価がどのように変化したか、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	かなり改善した	少し改善した	少し悪化した	かなり悪化した	影響なし	わからない
1 仕事のパフォーマンス	<input type="radio"/>					
2 上司や管理者による、従業員へのマネジメントの公平性	<input type="radio"/>					
3 メンタルヘルスとウェルビーイング(生活満足度や幸福度等)	<input type="radio"/>					
4 職場における安全性と身体の健康	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q25

AIによる人員削減と転職について、あてはまるものをお答えください。
(それぞれひとつずつ)

	はい	いいえ	わからない
1 あなたの企業において、AIによって職を失った人を知っていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あなたの企業において、自身を含め、転職を余儀なくされた人を知っていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 あなたの産業分野の他企業で、AIによって職を失った人を知っていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 あなたの産業分野の他企業で、転職を余儀なくされた人を知っていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 あなたは、2年後も今の企業で仕事を続けたいと思っていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 あなたは、10年後も今の企業で仕事を続けたいと思っていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。



Q26

あなたの職場におけるAIの利用はどの程度、進展すると思いますか。
(それぞれひとつずつ)

	極めて大きく進展	かなり大きく進展	ある程度、進展	わずかながら進展	全く変化しない	わからない
1 今後2年以内について	<input type="radio"/>					
2 (2年を超えて)今後10年以内について	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。



Q27

今後の10年間を見据えた場合、AIはあなたの産業分野の賃金に、影響を与えると思いますか。

- はい、AIは賃金を増加させると思う
- はい、AIは賃金を減少させると思う
- いいえ、AIは賃金に影響を与えないと思う
- わからない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q28

AIによってあなたの仕事が喪失されることについて、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

極 め て 心 配	か な り 心 配	あ る 程 度 、 心 配	わ ず か な が ら 心 配	全 く 心 配 し て い な い	わ か ら な い
-----------------------	-----------------------	---------------------------------	--------------------------------------	---	-----------------------

- | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 今後2年以内について | <input type="radio"/> |
| 2 (2年を超えて)今後10年以内について | <input type="radio"/> |

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q29

現在の仕事や職場の状況を踏まえ、以下の項目について、あなたの所感にあてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	強く同意する	やや同意する	どちらでもない	やや同意しない	強く同意しない	わからない
1 AIを搭載したロボットやソフトウェアから、指示を受けることが心配だ	<input type="radio"/>					
2 AIの職場導入により、取り残されることが心配だ	<input type="radio"/>					
3 私の職場でAIを導入するのは、時期尚早ではないかと心配だ	<input type="radio"/>					
4 AIによって、仕事の進捗管理が強化される可能性があることが心配だ	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q30

あなたの仕事に対するAIの影響について、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	かなり改善	少し改善	少し悪化	かなり悪化	影響なし	わからない
1 今後2年以内の、仕事のパフォーマンスについて	<input type="radio"/>					
2 (2年を超えて)今後10年以内の、仕事のパフォーマンスについて	<input type="radio"/>					
3 今後2年以内の、メンタルヘルスとウェルビーイング(生活満足度や幸福度等)について	<input type="radio"/>					
4 (2年を超えて)今後10年以内の、メンタルヘルスとウェルビーイングについて	<input type="radio"/>					
5 今後2年以内の、職場における安全性と身体の健康について	<input type="radio"/>					
6 (2年を超えて)今後10年以内の、職場における安全性と身体の健康について	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q31

あなたの職種では、AIによる雇用増加がどの程度期待できるか、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	極めて期待できる	かなり期待できる	ある程度、期待できる	わずかながら期待できる	全く期待できない	わからない
1 今後2年以内について	<input type="radio"/>					
2 (2年を超えて)今後10年以内について	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q32

現在の仕事における、あなたの生成AIの活用方法について、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- 資料や文章の原案作成
- 文章等の修正・編集・校正・要約
- 他言語への翻訳
- プログラムのコード作成・デバッグ
- データの整理・分析
- アイデアの検討・改良
- 斬新なアイデアの模索
- 情報収集のためのオンライン・リサーチ
- 仕事のための自己学習
- 人材マネジメント(人事考課やフィードバックの作成支援、採用活動など)
- 画像、動画、音楽の作成
- 上記以外の活用方法

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q33

あなたの企業における、生成AI関連の社内規定やガイドラインについてお伺いします。
 (それぞれひとつずつ)

は い い わ
 い 策 い そ か
 定 え の え ら
 の 、 準 、 な
 準 た 備 策
 備 だ も 定
 を し 進 さ
 進 、 め て
 め て い な
 て い い し
 る いる い し
 、

1	従業員の仕事における生成AIの利用を禁止する、社内規定やガイドラインが制定されていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	従業員が仕事で適切に生成AIを利用することに関する、社内規定やガイドラインが策定されていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q34

あなたは、勤め先企業における仕事での生成AI利用に関する社内規定やガイドラインの内容をどの程度、理解していますか。

- ほぼ完璧に、理解できている
- 内容の一部は、理解できていない
- ほとんど、理解できていない
- まだ読んだことがない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q35

勤め先企業における仕事での生成AI利用に関する社内規定やガイドラインについて、あなたの順守状況をお答えください。

- ほぼ完璧に、順守できている
- 内容の一部は、順守できていない
- ほとんど、順守できていない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q36

現在、他社への転職や、現在の企業で新たなポストを得るために、あなたは求職活動をしていますか。

- 求職活動しており、求職活動に生成AIを利用している
- 求職活動しているが、求職活動には生成AIを利用していない
- 求職活動していない

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q37

あなたの求職活動における生成AIの効果について、お答えください。
 (それぞれひとつずつ)

	強く同意する	やや同意する	どちらでもない	やや同意しない	強く同意しない	わからない
1 求職活動に必要な準備(履歴書作成や情報収集等)を効率化してくれる	<input type="radio"/>					
2 求職活動のストレスを軽減してくれる	<input type="radio"/>					
3 より良い仕事を見つけることを手伝ってくれる	<input type="radio"/>					
4 私は、求職活動における生成AIの活用方法について、もっと学びたいと思っている	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q38

あなたのご認識の範囲で、お答えください。
 次の場面で、あなたの雇用主は、労働者または労働者代表との話し合いを行っていますか(行いましたか)。(それぞれひとつずつ)

	はい(行っている)	いいえ(行っていない)	わからない(行わなかった)
1 職場で、新しい技術が使用される際	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あなた自身の職場で、AIが使用された際	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q39

あなたのご認識の範囲で、お答えください。

あなたの雇用主はどのタイミングで、労働者または労働者代表との話し合いを行っていますか。(それぞれひとつずつ)

	導 入 前	導 入 後	わ か ら な い
1 職場で、新しい技術が使用される際	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あなた自身の職場で、AIが使用された際	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q40

新技術の職場への導入時の、労働者または労働者代表との話し合いの効果として、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	強 く 同 意 す る	や や 同 意 す る	ど ち ら で も な い	や や 同 意 し な い	強 く 同 意 し な い	わ か ら な い
1 新技術の導入への不安が緩和された	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 新技術の導入の効果が高まった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 将来に必要とされるスキルが特定された	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q41

リスキリング・アップスキリング(学び・学び直し)や企業の訓練提供等について、お伺いします。(それぞれひとつずつ)

	はい	いいえ	わからない
1 昨年、あなたは、現在の仕事で必要とされるスキルの向上などを目的とし、何らかの形で、学び・学び直しに取り組みましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 昨年、あなたは、AIを利用しながら働くための学び・学び直しに取り組みましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 昨年、あなたは、学び・学び直しの際、「教育訓練給付金」を利用しましたか。 ※「教育訓練給付金」制度とは、働く人の主体的な能力開発やキャリア形成を支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 あなたの企業は、あなたがAIを利用しながら働くことが出来るように、これまで訓練の提供や資金援助をしてきましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q42

あなたの企業が提供している訓練や、資金援助の取組内容について、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- 日々の業務における上司や先輩職員による訓練
- 社内での研修セミナー
- 外部機関での研修セミナー
- 自主的な社内勉強会への支援
- AI技術に関する学会への参加支援
- 教育機関での学びへの支援
- 勤務時間外の自己啓発活動への支援
- 習得すべきスキルと知識の明確化
- 企業からのAI技術の情報提供
- AI技術関連業界との交流機会の提供
- 上記以外

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q43

あなたの職業に求められるスキルに対するAIの影響として、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	強く同意する	やや同意する	どちらでもない	やや同意しない	強く同意しない	わからない
1 AIは、私のスキルの一部の、価値を下げている	<input type="radio"/>					
2 AIは、私のスキルを補完している	<input type="radio"/>					
3 私は、AIの開発/メンテナンスに求められるようなAIスキルを専門としている	<input type="radio"/>					
4 私は、AIについてもっと学びたいと思っている	<input type="radio"/>					
5 私は、AIを利用しながら働くことが出来るよう、学ぶためのリソース(手段)がある	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q44

あなたの職業に求められるスキルや能力に対するAIの将来の影響として、あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	(あなたの職業に求められるスキルや能力を)					
	極めて大きく変化させる	かなり変化させる	ある程度、変化させる	わずかながら変化させる	全く変化させない	わからない
1 今後2年以内について	<input type="radio"/>					
2 (2年を超えて)今後10年以内について	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q45

今後10年間で、AIや生成AIが職場により一層、導入されるようになると仮定してお伺いします。
 あなたの現在の仕事において、以下にあげるスキルや能力に対するニーズは、どうなると思いますか。(それぞれひとつずつ)

	重要性が、かなり高まる	重要性が、やや高まる	重要性が、やや低下する	重要性が、かなり低下する	変化なし	わからない
1 創造性・革新性	<input type="radio"/>					
2 課題を把握し、解決する能力	<input type="radio"/>					
3 他者に理解してもらうための説明力やコミュニケーション力	<input type="radio"/>					
4 データ分析力と解釈力	<input type="radio"/>					
5 仮説を立て、検証する能力	<input type="radio"/>					
6 変化への適応力	<input type="radio"/>					
7 倫理・コンプライアンスへの意識	<input type="radio"/>					

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q46

あなたの企業がAIを使用する際の行動(下記)について、あなたが企業をどの程度、信用しているか(していないか)お答えください。

※この質問は、あなたの企業がAIを導入したと想像してお答えください。

	(私の企業がそういった行動をとると)				
	かなり信用している	どちらかといえば信用している	どちらかといえば信用していない	まったく信用していない	わからない
1 あなたの企業は、従業員全体に利益が行き渡る方法で、AIを使用するか。	<input type="radio"/>				
2 あなたの企業は、AIと働くことになる労働者に訓練を提供するか。	<input type="radio"/>				
3 あなたの企業は、AIについて決定する際、労働者の意見を考慮するか。	<input type="radio"/>				
4 あなたの企業は、安全で信頼性のあるAIだけを使用するか。	<input type="radio"/>				
5 あなたの企業は、AIによる雇用喪失を最小限に抑えようとするか。	<input type="radio"/>				

質問を、英語で確認したい場合はこちらをクリックしてください。

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

次へ

0 50 100(%)

Q47

従業員がAI・生成AIによるポジティブ(前向き)な効果を楽しみ、ネガティブ(後ろ向き)な影響を抑制するために、企業や政府のどのような取組が重要になると思いますか。今後の10年を見据えて、お答えください。(3つ以上)

- AI技術自体の信頼性と透明性の向上
- AI技術を利用する際の安全性の向上
(個人情報の不適切な利用、虚偽・偏向情報の拡散、著作権侵害などのリスクへの対応など)
- 新しい仕事の創出につながる技術開発
- 仕事のパフォーマンスの向上と賃金の上げにつながる技術開発
- 労働者の働き方と働く環境の改善につながる技術開発
- 職場への新技術の導入に関する労使間の対話の促進
- 従業員が仕事でAIを使うために学ぶことへの支援の強化
- AI時代に求められるスキルや能力の明確化
- 将来のキャリアパスに関する相談支援の強化
- 円滑に転職・再就職しやすい環境整備の推進
- 上記以外
- 特になし

先ほどの定義を確認したい場合はこちらをクリックしてください。

送信

0 50 100(%)

SQ06 ブルダウン内容詳細

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県
- 日本国外
- 答えたくない

Q09.1 ブルダウン内容詳細

- 管理職
- 専門職(専門的な知識の蓄積、その応用、その教育などを行う職業。他の労働者の監督が職務に含まれている場合がある)
- 技師、准専門職(技術的業務の実施や技術的サービスの提供などを行う職業。2の専門職のサポートやその指示・指導に基づき職務が含まれている場合がある)
- 事務補助員
- サービス・販売従事者
- 農林漁業従事者
- 技工及び関連職業の従事者
- 設備・機械の運転・組立工
- 単純作業の従事者(主として手作業用具を使用し、単純かつ定型的な肉体的労働を行う職業)
- 軍人(自衛官)

Q09.2 ブルダウン内容詳細

- 社長、上級公務員、立法律議員
- 総務・営業の管理者
- 生産・専門サービスの管理者
- 接客業・小売業・その他のサービス業管理者
- 科学・工学分野の専門職
- 保健専門職
- 教育専門職
- 経営管理専門職
- 情報通信技術専門職
- 法務・社会・文化分野の専門職
- 科学・工学分野の准専門職
- 保健分野の准専門職
- ビジネス・総務担当の准専門職
- 法務・社会・文化分野の准専門職
- 情報通信技師
- 一般事務員、キーボード入力事務員
- カスタマーサービス事務員
- 経理・在庫管理担当事務員
- その他の事務補助員
- 対個人サービス従事者
- 販売員
- 身の回りサービス従事者
- 保安サービス従事者
- 市場向け農業生産従事者
- 市場向け農業・林業・狩猟生産従事者
- 自給漁業・狩猟・採掘・採取従事者
- 建設関連職業の従事者(電気工事を除く)
- 金属・機械関連職業の従事者
- 手工艺品・印刷関連職業の従事者
- 電機・電子機器関連職業の従事者
- 食品加工・木材加工・衣類・その他の手工品作製関連職業の従事者
- 定置装置・機械運転工
- 組立工
- 運転士、輸送システム運転者
- 清掃員、ヘルパー
- 農林漁業作業者
- 鉱業・建設業・製造業・運輸業作業者
- 調理補助者
- 街頭等における販売員、サービス従事者
- こみ取集作業者、その他の単純作業従事者

Q09.3 ブルダウン内容詳細

- 立法律議員、上級公務員
- 社長、専務理事
- 対事業所サービス・総務管理者
- 販売・マーケティング・開発の管理者
- 農業・林業・漁業の生産管理者
- 製造業・鉱業・建設業・流通業の管理者
- 情報通信技術サービスの管理者
- 専門サービスの管理者
- ホテル支配人、飲食店主・店長
- 小売業・卸売業の管理者
- その他サービス管理者(映画館支配人、テーマパーク管理者、余明施設管理者、ショッピングセンター管理者、旅行代理店管理者など)
- 物理・地球科学分野の学者
- 数学者、保険計理士、統計の専門職
- 生命科学の専門職
- 工学分野の専門職(電子工学を除く)
- 電子工学技術者
- 建築家、都市計画家、測量士、デザイナー
- 医師
- 看護・助産の専門職
- 伝統医療・代替医療専門職(鍼灸師、漢方医、自然療法など)
- 医師と共働する医療専門職(高度救命救急士、プライマリケア救急医、臨床検査技師、臨床工学士など)
- 獣医師
- その他の保健分野の専門職
- 総合大学、高等教育機関の教員
- 職業教育の教員(自動車技術の指導員、美容技術の指導員など)
- 中等教育の教員
- 小学校・幼児教育の教員
- その他の教育専門職(教育方法の専門職、正規教育外の外国語教師、スクールカウンセラーなど)
- 財務専門職
- 経営専門職
- 販売・マーケティング・広報の専門職
- ソフトウェア・アプリケーション開発者、アナリスト
- データベース・ネットワークの専門職
- 法務専門職
- 図書館司書、公文書保管人、博物館学芸員
- 社会・宗教分野の専門職
- 作家、ジャーナリスト、言語学者
- 創作芸術家、音楽家、舞台芸術家(アーティスト、作曲家、ダンサー、映画・舞台監督、俳優、アナウンサーなど)
- 物理・工学分野の技師
- 鉱業・製造業・建設業の監督員
- 工程管理技師
- 生命科学技術者及び関連分野の准専門職(生命科学技術者(医療を除く)、農業技術者、林業技術者など)
- 船舶・航空機運航の准専門職・技師
- 医療技師、薬剤技師
- 看護・助産准専門職
- 伝統医療及び代替医療准専門職(鍼灸技師、ハーブ治療など)
- 獣医師、獣医助手
- その他の保健分野の准専門職
- 金融・取引担当准専門職
- 販売・購入の代行者・仲立人(保険販売代理人、商業販売外交員、バイヤーなど)
- 対事業所サービス提供者
- 総務秘書、専門秘書(法務秘書、幹部・役員秘書、医療秘書など)
- 監督行政の准専門職(税関吏、税の徴収官、社会保障給付事務担当官、行政許認可担当官、刑事など)
- 法務・社会・宗教分野の准専門職

- スポーツ・フィットネス従事者(アスリート、スポーツ選手、スポーツコーチ、インストラクター、トレーナーなど)
- 芸術・文化・料理分野の准専門職
- 情報通信技術オペレーション・ユーザーサポート技術者
- 電気通信技術師、放送技術師
- 一般事務員
- 秘書(一般)(タイピング担当秘書、ワードプロセッサ担当秘書、日程管理担当秘書など)
- キーボード入力オペレーター
- 窓口係、集金及び関連職業の事務員(銀行窓口係、質屋、金融業者、債権回収業など)
- 顧客情報管理従事者
- 経理担当事務員
- 在庫・輸送管理事務員
- その他の事務補助員(図書館事務員、文書整理・複写担当事務員、人事担当事務員、出版事務員など)
- 旅行師、乗車、乗船、観光案内員
- 調理人※シシやシェフ料理人の監督の下、調理等を行う職業
- 給仕人(ウェーター・ソムリエなど)、バーテンダー
- 理容師、美容師及び関連職業の従事者
- ビル管理・家事代行業の監督者
- その他の対個人サービス従事者
- 街頭・市場における販売員
- 小売店販売員
- 現金出納事務員、切符販売員
- その他の販売員
- 保育従事者、教師補助員
- 介護福祉従事者
- 保安サービス従事者
- 市場向け畜産作物・農作物生産従事者
- 動物飼育従事者
- 混作物、動物飼育従事者
- 林業及び関連職業の従事者
- 漁業従事者、漁師、罟掛人
- 自給栽培農家
- 自給畜産家
- 自給混作物農家、畜産家
- 自給漁業、狩猟、捕獲・採取従事者
- 建築物の型枠組立及び関連職業の従事者
- 建築仕上工事及び関連職業の従事者
- 塗装工、建物清掃員及び関連職業の従事者
- 板金・構造鋼工、鋳造工、溶接工及び関連職業の従事者
- 鍛冶工、工具職人及び関連職業の従事者
- 機械工、修理工
- 手工芸品従事者
- 印刷関連職業の従事者
- 電気設備据付工・修理工
- 電気通信機器の据付・修理工
- 食料品加工及び関連職業の従事者
- 木工、指物大工及び関連職業の従事者
- 衣服製造関連職業の従事者
- その他の手工品製作従事者(火薬工、発破工、病害虫・雑草の駆除業者など)
- 採掘装置・鉱石加工装置の運転工
- 金属加工装置・土壌装置の運転工
- 化学製品・写真製品製造装置・機械運転工
- ゴム・プラスチック・紙製品製造機械の運転工
- 繊維製品・皮革製品製造機械の運転工
- 食料品及び関連製品製造機械の運転工
- 木材加工・製紙装置の運転工
- その他の装置装置・機械の運転工(粘土煉瓦、タイル窯運転工、蒸気エンジン・ボイラー運転工、バック詰め・ボトル詰め・ラベル貼り機械の運転工など)
- 組立工
- 機関車運転士及び関連職業の従事者
- 乗用車・バン・オートバイ運転手
- 大型トラック・バス運転士
- 重機運転工
- 船舶甲板員及び関連職業の従事者
- 一般家庭・ホテル・オフィス清掃員、ヘルパー
- 車明・窓・洗濯物等の手作業による清掃員
- 農林漁業作業員
- 鉱業・建設業作業員
- 製造業労働者(手作業による袋詰め作業員、手作業によるピンの仕上げ作業員など)
- 運送業・倉庫業労働者
- 調理補助者(ファーストフード調理者、手作業による食器洗浄者など)
- 街路等におけるサービス従事者(靴磨き、ちらしやフリーペーパー配りなど)
- 露天商(食品を除く)
- 二み取業者
- その他の単純労働者(小包配達人、検計員、自動販売機代金回収員、水汲人、雑務係など)

Q09.4 プルダウン内容詳細

- 社長、専務理事
- 財務管理者
- 人事管理者
- 政策・企画管理者
- 他に分類されない対事業所サービス・総務管理者(行政サービス管理者、清掃サービスの管理者、施設管理者など)
- 販売・マーケティング管理者
- 広告・広報担当管理者
- 研究開発管理者
- 製造業管理者
- 建設業管理者
- 供給・流通業・その他関連分野の管理者(バス停留所管理者、物流管理者、サプライチェーン管理者、倉庫管理者など)
- 情報通信技術サービスの管理者
- 保育サービス管理者
- 医療サービス管理者
- 高齢者介護サービスの管理者
- 社会福祉管理者(コミュニティセンター管理者、家族サービス管理者、住宅サービス管理者、福祉センター管理者など)
- 教育管理者(学長、学部長、校長など)
- 金融・保険業の管理者
- 他に分類されない専門サービスの管理者(美術館管理者、博物館管理者、図書館管理者、警察署長、刑務所管理者など)
- ホテル支配人
- 飲食店主・店長
- 小売業・卸売業の管理者
- 数学者、保険計理士、統計の専門職
- 工業生産技術者(生産技術者、産業技術者、産業プラント技術者など)
- 土木技術者
- 環境技術者(大気汚染管理技術者、環境アナリスト、排水工機技術者など)
- 機械技術者(保管機技術者、エンジン技術者、造船技術者など)
- 化学技術者(燃料技術者、プラスチック技術者など)
- 鉱山技師、冶金技師及び関連分野の専門職
- 他に分類されない工学分野の専門職(生体力学技術者、原子力発電技術者、材料技術者、光学分野の技術者等)
- 電気技術者
- 電子技術者(コンピューター・ハードウェア技術者など)
- 電気通信技術者
- 建築士
- 景観設計家
- 工業製品・服飾デザイナー
- 都市・交通計画プランナー
- 地図製作者、測量士
- グラフィック・マルチメディアデザイナー(アニメーター、ゲームデザイナー、グラフィックデザイナー、イラストレーター等)
- 看護専門職
- 助産専門職
- 伝統医療・代替医療専門職(鍼灸師、漢方医、自然療法医など)
- 医師と共働する医療専門職(高度救命救急士、プライマリケア救急医、臨床検査技師、臨床工学技士など)
- 獣医師
- 歯科医師
- 薬剤師
- 環境衛生・労働安全衛生の専門職
- 理学療法士
- 食事療法士、栄養士
- 聴覚学者、言語療法士
- 検眼士、検眼鏡士
- 他に分類されない保健専門職(作業療法士、アートセラピスト、レクリエーション療法士など)
- 総合大学・高等教育機関の教員
- 職業教育の教員(自動車技術の指導員、美容技術の指導員など)
- 中等教育の教員
- 会計士
- 財務・投資顧問
- 金融アナリスト
- 経営組織アナリスト
- 政策管理専門職(情報担当官、政策アナリスト、政策アドバイザー、政治アドバイザーなど)
- 人事・キャリアガイダンスの専門職
- 研修・職員教育の専門職
- 広告・市場調査の専門職
- 広報活動の専門職
- 技術医療販売専門職(情報通信を除く)(営業担当(工業製品)、営業担当(医療機器や医薬品)など)
- 情報通信技術販売専門職(営業担当(情報通信技術)、営業担当(コンピューター)など)
- システムアナリスト
- ソフトウェア開発者
- ウェブ・マルチメディア開発者(アニメーション・コンピューターゲームプログラマー、インターネット開発者、ウェブサイト開発者など)
- アプリケーションプログラマー
- 他に分類されないソフトウェア・アプリケーション開発者、アナリスト(コンピューターの品質保証アナリスト、ソフトウェアやシステムの動作確認者など)
- データベース設計者・管理者
- システムアドミニストレーター
- コンピュータネットワーク専門職(コンピュータ通信アナリスト、ネットワークアナリストなど)
- 他に分類されないデータベース・ネットワーク専門職(データ・マイニングアナリスト、ICTセキュリティスペシャリストなど)
- 弁護士
- 裁判官
- 他に分類されない法務専門職(監察医、公証人など)
- 経済分析家(経済学者、エコノミスト、経済アナリストなど)
- 社会学者、人類学者及び関連分野の専門職
- 哲学者、歴史家、政治学者
- 心理学者
- ソーシャルワーカー、カウンセリング専門職
- 宗教の専門職
- 作家、著述家
- ジャーナリスト
- 翻訳者、通訳者、その他の言語学者
- 化学技師、物理科学技術者(化学技師、地質技師、気象技師、物理技師など)
- 土木技師(測量技師、土木技師、火災予防の専門家など)

- 電気工技師
- 電子工技師
- 機械工技師(航空工技師、海洋工技師、海洋測量士など)
- 化学工技師(化学技師、石油工技師など)
- 鉱山技師、冶金技師
- 製図技術者
- 他に分類されない物理・工学分野の技師(生産工技師、ロボット技師、数量の測量士など)
- 鉱山監督員
- 製造業監督員
- 建設業監督員
- 発電施設オペレーター
- 廃却炉・下水処理場運転工
- 化学処理プラント管理者
- 石油天然ガス精製操縦オペレーター
- 金属製造工程管理員
- 他に分類されない工程管理技師(産業ロボット管理員、紙パルプ製造工程オペレーター、自動組立ラインの運転工など)
- 船舶操縦士
- 船舶の航海士・操舵手
- 航空機操縦士及び関連分野の準専門職
- 航空管制官
- 航空保安電子機器整備員
- 診療放射線技師、臨床工学士
- 医療技師、衛生検査技師(血液管理技師、細胞検査技師、病理検査技師など)
- 薬剤技師、薬剤師助手
- 義肢装具士、歯科衛生士、歯科技工士
- 看護准専門職
- 助産准専門職
- 伝統医療及び代替医療准専門職(鍼灸技師、ハーブ治療など)
- 獣医師、獣医助手
- 歯科助手、歯科衛生士
- 医療事務員、医療情報技師
- 地域医療従事者
- 眼鏡士
- 理学療法技師、理学療法助手(電気療法士、マッサージ療法士、指圧療法士など)
- 医療助手
- 環境衛生・労働安全衛生の准専門職
- 救急隊員
- 他に分類されない保健分野の准専門職(麻酔技師、呼吸療法技師、HIVカウンセラーなど)
- 証券・金融のディーラー、ブローカー
- 貸付審査・貸付融資担当者
- 会計准専門職(帳簿係など)
- 統計・数値及び関連分野の准専門職
- 価値・損害査定人
- 通関士、荷送人
- 会議・イベントプランナー
- 職業相談人・誘導員
- 不動産業者、資産管理人
- 他に分類されない対事業所サービス提供者(販売人、スポーツ選手代理人、広告販売員など)
- 法務及び関連分野の准専門職(裁判所書記官、法律事務員、法務助手など)
- 社会福祉分野の准専門職(コミュニティサービス労働者、メンタルヘルスサポート、福祉支援労働者など)
- 宗教の准専門職
- 写真家
- インテリアデザイナー、インテリア装飾者
- キーホルダー・博物館・図書館の技術職(副館長技師、複製技師、博物館・美術館・図書館技師など)
- 料理人※メニューの作成、料理の創作、調理の計画・監督などを行う職業
- 他に分類されない芸術・文化分野の准専門職(照明技師、特殊効果技師、劇場技師、劇場衣装コーディネーター、舞台監督、スタントマンなど)
- 情報通信技術オペレーション技師
- 情報通信技術コーディネーター※ポートエンジニア(ヘルプデスクオペレーター、コンピュータープログラミング助手、コンピューターシステム分析助手など)
- コンピュータネットワークシステム技師
- ウェブ技師
- 一般事務員
- 秘書(一般)(タイピング担当秘書、ワードプロセッサ担当秘書、日程管理担当秘書など)
- タイピスト、ワープロオペレーター(速記者、テキスト入力者など)
- データ入力事務員
- 旅行コンサルタント・事務員(航空券代理店、旅行代理店の事務員、トラベルデスク員など)
- コールセンター案内係
- 電話交換手
- ホテル受付係
- 照会窓口事務員(フロント案内係、案内係など)
- 受付係(一般)
- インタビュー調査員、市場調査員
- 他に分類されない顧客情報管理従事者(医療機関入院受付事務員、適格性調査員など)
- 会計・経理事務員
- 統計・財務・保険担当事務員
- 給与計算事務員
- 在庫管理事務員(貨物担当事務員、倉庫管理事務員など)
- 生産管理事務員
- 運送担当事務員
- 旅行添乗員、旅客係(旅客機客室乗務員、船舶旅客係など)
- 輸送機関の車掌
- 観光案内人(ツアーガイド、ツアー添乗員、美術館案内人など)
- 調理人※レシビュシェフ・料理人の監督の下、調理等を行う職業
- 給仕人(ウェーター・ソムリエなど)
- パーテンダー
- 理容師
- 美容師及び関連職業の従事者
- 事務所・ホテルその他施設の清掃員、ハウスキーパーの監督員
- 家政婦
- ビル管理人
- ペット美容師、動物飼育員
- 自動車教習所教官
- 他に分類されない対個人サービス従事者(舞臺屋、コンパニオン、星占師、クラブのホスト・ホステスなど)
- 小売店主
- 小売店監督員(スーパーマーケット監督員、精算職務監督者など)
- 小売店販売補助員(販売員、小売店、卸売店、商店補助員)
- 現金出納事務員、切符販売員(商店レジ係、切符発行係員、精算業務者など)
- ファッションモデル、その他のモデル
- 販売デモンストレーター
- 訪問販売員
- コールセンター販売員
- ガリオンスタンド販売員
- フードサービスカウンター接客係
- 他に分類されない販売員(レンタル用品販売員など)
- 保育従事者(保育士、ベビーシッター、乳母など)
- 教師補助員(教員補助員、保育士補助員など)
- 消防士
- 警察官
- 看守
- 警備員
- 他に分類されない保安サービス業の従事者(動物管理員、交通指導員、海水浴場の監視員など)
- 林業及び関連職業の従事者
- 自給栽培農家
- 自給畜産家
- 自給自作農家、畜産家
- 自給漁業・狩猟・捕獲・採取従事者
- 鋸工、中子工
- 鍛冶工、鍛断工
- 板金工
- 鋼構造物加工・組立工
- 索具巻揚作業者、ケーブル敷設作業者
- 鍛冶工、鍛造・プレス加工従事者
- 工具製作及び関連職業の従事者
- 金属工作機準備工、金属工作機械工
- 金属研磨工、車輪研磨工、部品研磨工
- 自動車整備士・修理工
- 航空機エンジン取付工、航空機整備士
- 農業用機械、産業用機械の整備・組立工
- 自転車・その他の動力源のない輸送機器の修理工
- 電気工事士
- 電気機械据付工・調整工
- 電気配線工事作業員・修理工
- 肉・魚及び関連食品の調理工
- パン・パストリー・菓子職人
- 乳製品製造工
- 菓物・野菜及び関連保存食品の製造工
- 食品・飲料の等級判定員・格付員
- タバコ調合工、タバコ製品製造工
- 金属加工装置運転工
- 金属仕上げのめっき・コーティング機械の運転工
- 化学製品製造装置・機械の運転工
- 写真製品製造機械の運転工
- ゴム製品製造機械運転工
- プラスチック製品製造機械運転工
- 紙製品製造機械運転工
- 食料品及び関連製品製造機械の運転工
- パルプ・製紙製造装置運転工
- 木材加工機械運転工
- 機械組立工
- 電機・電子機器組立工
- 他に分類されない組立工(自転車組立工、眼鏡のフレーム組立工、プラスチック製品・ゴム製品・木材製品組立工など)
- オートバイ運転手
- 乗用車・タクシー・バスの運転手
- バス・市街電車運転士
- 大型トラック・ローリー車の運転士
- 自走式農業・林業機械運転士
- 土工機械運転工
- クレーン・巻き上げ機及び関連設備運転工
- リフト付トラックの運転士
- 船舶甲板員及び関連職業の従事者
- 鉱山・採石場作業員
- 土木作業員
- 建設作業員